

国民健康保険の財政支援措置強化に関する要望

要望の要旨

高齢化及び高度医療の保険適用等により医療費は増加しており、保険税率を見直す市町村が相次いでおります。

都道府県域化にあたって国保改革と併せ、一部公費が拡充されましたが、被用者保険と比較した保険税の負担感の解消どころか、国民皆保険の安定的かつ持続的な運営すら危ぶまれることから、なお一層の国庫負担割合の引き上げなど、国保財政基盤の拡充・強化を図られるよう要望します。

要望の理由

国民健康保険制度は、予てから構造的な財政基盤の脆弱さが指摘されております。

これに加えて、被用者保険の適用拡大や、団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行していることにより、一定の所得がある被保険者数が減少し、保険税収入が減少しております。

保険税収入の減少と医療費の増加から、財源確保のための

国保税率の累次の引上げは避けられない状況にあり、相次ぐ公共料金の値上げや、物価高騰など厳しい経済事情の中、低所得者が多くを占める被保険者の生活をなお一層圧迫するものであることから、財政支援の拡充を要望するものです。